



湘南ライフタウンまちづくり講演会



ビニールハウス被覆資材の張り替え



藤沢駅橋上駅舎

4 都市の機能と活力を高める

- ☆藤沢駅周辺地区再整備事業について、2026年1月に小田急藤沢駅の橋上駅舎の一部が完成。引き続き、新たなにぎわい・交流の拠点となるよう事業を推進
- ☆村岡地区都市拠点総合整備事業について、新駅設置工事に続き2026年2月に土地区画整理の造成工事に着手。引き続き、さまざまな世代の方々や多様な主体と連携しながら新駅を核にしたまちの実現に取り組む
- ☆OUR Project(生活・文化拠点再整備事業)について、管理・運営計画の策定および基本設計を進めるとともに、市民参画プラットフォームの構築に取り組む
- ☆鶴沼市民センター等再整備や少年の森再整備については、そこに人々が集い、交流することで、新たな活動を生み出すことができるよう再整備を推進
- ☆老朽化が進む道路ストックの維持管理について、道路包括的民間委託手法の検討を実施
- ☆長期にわたり高い火葬需要の継続が見込まれる藤沢聖苑について、長寿命化および施設再整備の検討を実施
- ☆長期的な視野に立ち、総合的な住宅政策を計画的に推進するため「藤沢市住宅マスタープラン」を改定
- ☆湘南ライフタウンの団地再生について、将来のまちづくりのキーパーソンとなり得る人材を育成する実装型のワークショップなどを実施
- ☆花卉や植木、施設野菜などの品質向上や収量確保のため、ビニールハウスやガラスハウスの被覆資材の張り替えに対する支援を実施
- ☆城・稻荷地区について、生産性が高く、収益性の確保が期待できる二毛作を実現するため、暗渠排水管の整備を引き続き推進
- ☆「ワインのまち藤沢」をブランディングし、地域経済循環を高めるため、ワイン特区の認定を目指す
- ☆2027年3月から開催される国際園芸博覧会への出展に向けて、「海の園芸の推進」をテーマに江の島海底のVR映像を作成
- ☆市民の憩いとやすらぎのオープンスペースとして、また災害時の一時避難場所として、遊行寺坂に近接する大門公園を整備

5 未来を見据えてみんなで進める

- ☆市民ポータルサイト「ふじまど」の充実や市立小学校全校における見守りタグを活用した「登下校見守りサービス」の開始など、デジタル技術を生かした仕組みづくりを推進
- ☆地球温暖化対策設備の導入支援として、PHEV車とV2H充放電設備などを補助対象に追加
- ☆デジタル地球儀を活用したゼロカーボン講演会などを実施
- ☆ごみ収集について、全品目戸別収集の全市域での実施を見据え、試行地区を拡大
- ☆リサイクルプラザ藤沢の火災原因とされているリチウムイオン電池内蔵の充電式小型家電などの分別区分を変更
- ☆旧桔梗屋について、施設整備および運営に関する協定を締結し、公民連携により歴史文化の継承とにぎわいの創出などの取り組みを推進
- ☆秋葉台公園球技場人工芝の更新や八部公園プール更衣室などの改修工事を、一部にクラウドファンディングなどを活用して実施
- ☆健康で豊かなスポーツライフを実現するため、市内で開催される世界大会や全国大会への支援を実施



見守りタグ



旧桔梗屋

「藤沢市市政運営の総合指針2028」における3つのまちづくりコンセプト

2025年に策定した「藤沢市市政運営の総合指針2028」では、SDGsの視点を取り入れた3つのまちづくりコンセプトを位置付けています。

※詳細は市の☎の企画政策課のページへ



○藤沢らしさを未来につなぐ持続可能な元気なまち(サステナブル藤沢)

現在の世代だけでなく、将来の世代のニーズも満たすものであるかどうか、未来の人たちに誇れる取り組みであるかどうか、市の全ての取り組みを問い直し、持続可能な発展を目指します。

○共生社会の実現をめざす誰一人取り残さないまち(インクルーシブ藤沢)

誰一人取り残さないという思いで、誰もが暮らしやすく、多様な生き方・考え方を認め合う、多彩な魅力と活力があふれるまちづくりを進めていきます。

○最先端テクノロジーを活用した安全安心で暮らしやすいまち(スマート藤沢)

さまざまな課題に最先端技術を積極的に活用し、市民サービスの向上を図るとともに、ICTの力で市民参加の促進やコミュニティの活性化に取り組めます。